

項目	観点	教科書名				
		新しい保健(2・東書)	たのしい保健(4・大日本)	わたしたちの保健(207・文教社)	小学保健[208・光文]	みんなの健康(224・学研)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	(1)身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにするために、どのように配慮されているか。【知識及び技能】	・基礎的・基本的な知識が簡潔にまとめられており、特に大切な部分は、ゴシック体にして見やすいように工夫されている。 ・各小単元が4つのステップに分けられていて、ステップ4では、学習した内容をまとめる活動を取り上げることで知識の習得を図っている。 ・技能に関する実習のページが設けられ、デジタルコンテンツにより、視覚的に理解できるようになっている。	・各小単元の本文で基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明示し、学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮されている。 ・章の終わりに、知識及び技能を定着させるための問題を設定し、学習した内容を児童が振り返りながら確認できるように工夫している。	・基礎的・基本的な知識が簡潔にまとめられており、特に大切な部分は、太字にすることで見やすいように工夫されている。 ・絵、図、グラフなどの資料が豊富であるが、それにより文字が小さくなってしまい、読みづらい部分もある。	・基礎的・基本的な知識が簡潔にまとめられており、特に大切な部分は、太字にすることで見やすいように工夫されている。 ・各単元の最後に、学習のまとめのページを設けて、知識の確実な定着を図ることができるように工夫されている。	・各小単元の最後に、学習したことを自分の言葉でまとめる活動を取り入れることで、知識の習得を図ることができるように工夫されている。 ・実験をはじめ、けがの手当などの実習を取り上げることで、実践的な学習ができるように工夫されている。 ・科学的な資料を取り上げた「かがくの目」を随所に設け、科学的な理解・認識ができるように工夫されている。
	(2) 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うために、どのような配慮がされているか。【思考力・判断力・表現力等】	・児童の生活場면을想起させる写真や挿絵を配置し、児童が身近な例から健康課題に気付いたり、課題を見付けたりすることができるようになっている。 ・4つに分かれたステップのうち、ステップ2と3において、課題解決に向けて、調べたり、話し合ったり、説明したりする活動を設定することで、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。	・導入の「やってみよう」「話し合ってみよう」の段階で、自分の生活について振り返る場面を設定することで、健康に関する課題を見付けることができるように工夫されている。 ・話し合い活動の進め方や発表の仕方を提示することにより、対話を通した活動から、思考を広げたり、深めたりすることができるように工夫されている。	・導入の「振り返ってみよう」の段階で、自分の生活を見つめ直す場面を設定することで、自己の健康課題を見付けることができるように工夫されている。 ・高学年で「考えてみよう」「話し合ってみよう」という場面を多く取り入れることで、話し合いを通した活動から、思考を広げたり、深めたりすることができるように工夫されている。	・小単元ごとに「はじめに」の活動を設け、学習課題を自分のこととして捉え、主体的な課題解決学習が行えるように工夫されている。 ・小単元の最後に「学んだことを生かそう伝えよう」の活動を設定することで、思考力・判断力・表現力を育めるように工夫されている。	・学習課題の明示、導入、学習活動、まとめといった流れを基本として構成しており、スムーズに学習が進められるようになっている。 ・「まとめ」段階では、身に付けた知識を基に、自己の課題を見付け、その解決に向けて思考・判断・表現する力を養うことができるように工夫されている。
	(3) 健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養うために、どのように配慮されているか。【学びに向かう力、人間力等】	・ガイドキャラクターによる次の時間の学習に向けた投げかけの言葉があり、次の保健の学習に意欲的に取り組むことができるようになっている。 ・単元末の「学習を振り返ろう」では、もっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄が設けられ、さらなる学びへの意欲を喚起するように工夫されている。 ・「資料」で運動領域との関連を示し、運動に関する内容が随所に取り上げられている。「実習」では、分かりやすいイラストを提示して、体験を伴った学習形態を取り入れ、主体的に取り組めるように配慮されている。	・単元の始めに「学習ゲーム」を掲載し、児童がゲームを行うことで自然と学習の課題に気が付き、意欲的に取り組めるように工夫されている。 ・第4学年の身長伸びをテープの長さで示す活動において、シールを使うことで児童の興味・関心を高め、活動の円滑化が図れるようにしている。 ・運動領域との関連を図るために、「やってみよう」や「もっと知りたい」でいろいろな運動を紹介し取り組めるよう配慮されている。	・「もっと知りたい」「もっとくわしく」というコーナーを設けることにより、学ぶ意欲を喚起するように工夫されている。 ・「新しい自分にレベルアップ」という欄を設け、児童が自分自身を成長させる意欲がもてるようになっている。 ・運動領域との関連を図るために、「情報コーナー」や「発展」「やってみよう」でいろいろな運動を紹介し取り組めるよう配慮されている。	・巻頭にトップアスリートから児童へのメッセージを掲載することで、これから始まる保健の授業への期待感を高められるように工夫している。 ・保健を学ぶことの大切さを、児童が読みたくなるストーリー形式で示し、イラストと会話でわかりやすく伝えることで、児童の好奇心や探究心を刺激している。 ・運動領域との関連を図るために、「広げよう深めよう」でいろいろな運動を紹介し取り組めるよう配慮されている。	・「もっと知りたい・調べたい」というコーナーを設けることにより、学習を広げたり、深めたりすることで、継続して学ぶ意欲を喚起するように工夫されている。 ・「学習を振り返る」「学びを深める」「明日につなげる」という欄を設け、学習したことが生活実践へ結び付くように工夫している。 ・運動領域との関連を図るために、巻頭の「スポーツに親しもう」や「もっと知りたい調べたい」でいろいろな運動を紹介し取り組めるよう配慮されている。
2 内容の程度及び取り扱いについて	(1) 保健の見方・考え方を働かせるために、どのような工夫が見られるか。	・ステップ1からステップ4のそれぞれの発問を工夫することにより、健康の保持増進や体力の向上を図ったり、安全な環境を整えたりするなど、保健の見方・考え方が働くように構成されている。	・各小単元で「活用して深めよう」というコーナーを設置し、活動を行うことによって、保健の見方・考え方を働かせることができるように工夫している。	・児童が保健の見方・考え方を働かせやすくなるように、教科書に出てくるキャラクターの発言内容を工夫している。	・児童目線の問いかけをしたり、キャラクターが発言する内容を工夫したりすることで、保健の見方・考え方を働かせられるように工夫している。	・各単元の最初に、「児童がもつ疑問の例」を示すことで、自らの課題をもって学習が始められるようにするとともに、保健の見方・考え方を働かせられるように工夫している。

	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	・ステップ1「気づく・見つける」で自己の課題を発見し、ステップ4「まとめる・生かす」で学習したことをこれからの生活に生かすことで、主体的に学べるよう工夫されている。 ・1単位時間が4ステップ構成になっており、ステップ3の「深める・伝える」段階で、筋道を立てて説明する問いが設定され、対話的で深い学びの実現に向けた工夫が見られる。	・「やってみよう」で自己の課題を発見し、「活用して深めよう」で学習したことをこれからの生活に生かすことで、主体的に学べるよう工夫されている。 ・「話し合ってみよう」のコーナーを随所に設けることで、資料から読み取ったり、友達と話し合ったりするなどの対話から思考を広げて深め、深い学びが実現できるように配慮されている。	・「振り返ってみよう」で自己の課題を発見し、「新しい自分にレベルアップ」で学習したことをこれからの生活に生かすことで、主体的に学べるよう工夫されている。 ・各単元の最後に、「わたしの〇〇宣言」のページを設けることで、主体的な学びが強調されてはいるが、友達と話し合う場面が少なく、対話的な学びになる設定とはなっていない。	・「はじめに」で自己の課題を発見し、「生かそう伝えよう」で学習したことをこれからの生活に生かすことで、主体的に学べるよう工夫されている。 ・対話的で深い学びの実現を図るため、話し合い活動や記述する活動などの言語活動を充実させている。	・「チェックする」で自己の課題を発見し、「学びを活用する」で学習したことをこれからの生活に生かすことで、主体的に学べるよう工夫されている。 ・「友達とマーク」や「共有マーク」を示すことで、教え合う、学び合う活動を随所に設け、主体的・対話的に学ぶ態度が育成されるように工夫している。
	(3) 健康に関する課題を解決する学習活動を通して、健康に関心がもてるようにするために、どのような工夫が見られるか。	・事例を提示した「深める・伝える」での話し合いや、「資料」で具体的な場면을写真などで提示し、対処法を考える体験的な学習を設定している。	・「話し合ってみよう」や「活用して深めよう」を設定することで、飲酒や喫煙を勧められたときの断り方を考えるなど、健康に関心がもてるように工夫されている。	・豊富な資料をもとに話し合ったり、考えたりする活動を通して課題解決し、「新しい自分にレベルアップ」で複数の健康課題への対処法を考える体験的な活動を設定することで、健康に関心がもてるように工夫されている。	・「生かそう伝えよう」で、学習したことを使って考える場面を配置し、自己実現に向けて考えを深める体験的な活動場面を設けることで、健康に関心がもてるように工夫されている。	・対話的な学びの場面「つかむ」や「もっと知りたい・調べたい」を設定することで、児童の実態に応じて健康に関心がもてるように工夫されている。
3 構成・配 列・分量	(1) 単元の構成や教材の配列には、どのような特色があるか。	・各小単元が4ページの4ステップで構成されており、各章の右上に「学習の進め方」を示している。また、マークを活用して他学年や他教科との系統性を示すなどの特色がある。	・巻頭で学習の流れを示したり、学習ゲームやキャラクターを活用したりすることで、意欲的に学習できる構成になっている。また、「ミニ知識」マークを掲載し、生活に役立つ知識の紹介をするなどの特色がある。	・各単元の最初に、学習への動機付けを図るページが設定されている。また、活動に順序性をもたせることで学習が進めやすくなっている。さらに、吹き出しの記述が、児童の考えの手助けにもなっている。	・原則、1単位時間が見開きになっており、全単元が同じ流れで5段階の学習過程で構成されている。また、「生かそう伝えよう」のコーナーがあり、学んだことを他者に伝える活動が意識されている。	・教科書の巻頭で学習の進め方や保健の見方・考え方などについて説明している。また、1単位時間が「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の3段階で構成されており、学習が進めやすいという特色がある。
	(2) 単元や教材の分量には、どのような特色があるか。	・3、4年生は45ページ、5、6年生は81ページの構成になっている。 ・文字や資料が大きくて見やすく、教科書とワークシートが一体化しているという特色があるため分量が多い。	・3、4年生は37ページ、5、6年生は57ページの構成になっている。 ・グラフや写真などの資料が小さくて少ない。	・3・4年生は33ページ、5・6年生は53ページの構成になっている。 ・グラフや写真などの資料は多いが小さい。また、全体的に文字が小さいが、大切なところは大きい。	・3・4年生は41ページ、5・6年生は65ページの構成になっている。 ・グラフや写真などの資料は多いが小さい。全体的に文字も小さい。書き込む部分が多めに設定されている。	・3・4年生は37ページ、5・6年生は57ページの構成になっている。 ・イラストや写真などの資料が豊富に取り上げられている。書き込む部分が少ない。
4 表記・表現	(1) 用語や記号、レイアウト等について、どのような工夫が見られるか。	・各単元の導入ページに目標や他教科とのつながりなどが明示されていることで、学習の見通しがもてるという工夫が見られる。 ・導入と本文、まとめのページを分けており、最後に資料を必ず掲載している。	・ページ番号やインデックスを単元カラーで統一することで、単元ごとのまとまりが分かりやすくなるように工夫されている。 ・小単元名が発達段階に合わせて工夫されている。	・会話形式の展開を多く取り入れたり、重要語句やその説明を色枠で示したりするなど、学習のポイントに気づきやすくする工夫が見られる。 ・全ての文章が段落で分けられていない。	・学習活動をマークで示すことで活動の仕方を明確にし、特におさえた基礎的・基本的事項を太字や色文字で示すなどの工夫が見られる。 ・読みの負担を軽減するために、多くの漢字にふりがながふってある。	・引き出し罫や区切り線を活用することで、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。 ・読み間違いを減らしたり、読みの負担を軽減したりするために、多くの漢字にふりがながふってある。
	(2) 写真や挿絵、図表等について、どのような工夫が見られるか。	・挿絵は、親しみやすく学習事項を的確に表現しており、さらに、写真を大きくしたり、デジタルコンテンツを充実させたりして学びを手助けしている。	・表紙や学習ゲームのイラストが児童に身近であり、学習意欲を高める工夫が見られる。さらに、ウェブコンテンツを用意して家庭学習でも活用できるような工夫が見られる。	・導入場面に挿絵を多く掲載し、課題づくりに役立てている。また、QRコードを掲載し、学習の参考となる動画等のデジタル資料を閲覧できるような工夫が見られる。	・拡大教科書を活用して、見せたい資料だけを大きく見せることができる。また、QRコードを活用した動画による学びの場を提供することで、家庭学習でも活用できるような工夫が見られる。	・「かがくの目」で科学的な理解に結びつけられるよう、「見えないものを見える化」した資料を掲載している。また、QRコードを活用した教科書サイトを示し、学びを深めるような工夫が見られる。
5 体裁、使用上の便宜	○装丁や便宜等については、どのように配慮されているか。	・A4版である。 ・全ページカラー印刷である。 ・鉛筆等による筆記適性が高く、耐久性に優れ、軽量な紙を使用している。 ・教科書だけで授業が進められる。	・AB版である。 ・全ページカラー印刷である。 ・表紙は丈夫で汚れにくくなるように加工している。 ・巻末にシールがついている。	・A4版である。 ・全ページカラー印刷である。 ・ユニバーサルデザインに配慮するとともに、再生紙、植物油インキを使用している。	・A4版である。 ・全ページカラー印刷である。 ・特別支援が必要な児童に配慮した内容や構成、デザインになっている。	・A4版である。 ・全ページカラー印刷である。 ・環境に配慮した紙、インキを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮して製作されている。